
日本数学検定協会賞

コンプガチャの確率について

愛知県 愛知県立一宮高等学校3年 武藤 拓志

講 評

おまけが何種類かあるとき、お菓子を平均何個買えばおまけが全種類揃うかという問題は昔から有名な問題で解法もいろいろあります。本研究ではそれらを自然に拡張し、レアアイテム(当たる確率が低いもの)が存在する場合について全種類が揃うまでの平均回数をうまく求めています。高校生の程度をやや超えた数学も使いこなし、高校生の数学の自由研究レポートとしてはオリジナリティが感じられ、高評価で、表彰されるに十分値すると思います。

中央審査委員会
